

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスいろは		
○保護者評価実施期間	令和 6年 9月 26日	～	令和 6年 10月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和 6年 9月 26日	～	令和 6年 10月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 1日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※) だとと思われること ※より強化・充実を図ることが多機能型の事業所のため切れ目なく支援していける	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内に専門職や多資源があること	幼児期から学齢期へと進んでも、慣れたスタッフやかつどうが継続することで、環境の変化による不安を軽減できるようにしている。 小さい頃から取り組んできた活動が成長とともに発展し、成功体験を積み重ねられるよう支援している。	幼児期と学齢期では支援のアプローチが異なる為、学齢期や思春期の心理的变化の理解を深めていく必要がある。
2		コメディカルスタッフより必要に応じてスーパーバイズを受けている。また、高齢者施設などもあることから、子関の機会を持つことが出来ている。	引き続き法人内外の関係機関や専門職との連携を実施し、勉強会や交流会を行っていきます。
3			

	事業所の弱み(※) だとと思われること ※事業所の課題や改善が必要だ 地域との交流の機会が不足している	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会の少なさ	「保育所や幼稚園等との交流や地域の子どもと活動する機会」を活動として提供できていない。	保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている交流などを検討していきます。
2		必要性を感じられている方とそうでない方がいるため、ニーズに応じた柔軟な対応が必要。	共通しそうな困り感や保護者が必要としている情報に対応した開催の工夫が必要。保護者のみなさんのニーズに応じた開催方法を検討していきたい。
3			